

平成 22 年度事業状況報告書

<事業状況概要>

平成 22 年度の重要課題とした公益社団法人への移行認定申請のため、ワーキンググループを中心として準備を積み重ね、5 回の会合を開き、その間、2 度の内閣府窓口相談、公益法人協会相談会、数度の内閣府電話相談を行い、申請書および添付資料の作成を行った。

平成 22 年 5 月の総会にて「定款の変更の案」の承認、12 月に移行時の代議員選出選挙を行い、平成 23 年 2 月 25 日に Web 上で申請を行った。現在審査中である。

公益事業の展開において、栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業として、第 64 回年次大会を中国・四国支部担当（徳島市：主会場・アスティとくしま）にて開催し、各支部においては相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。国際的活動については、IUNS ワークショップを他学会・団体と共同で 9 月に開催、IUFoST、FANS 等の国際組織との一層の連携を推進した。また、本学会が中心となり招致に成功した第 12 回アジア栄養学会議（12thACN、平成 27 年に横浜市での開催を予定）に関して、組織委員会の分科会を中心に検討を進め、広報業務委託の契約を行い、11thACN における宣伝活動の準備を進めている。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行し、欧文誌 JNSV 誌刊行においても定期的に出版した。

また、会員管理システムの機能向上一環として大会参加登録・演題登録との一体化、クレジット決済可能化専門業者と可能化（H24 年 4 月予定）の準備を進め、システムへの組み入れを行った。

今後の公益社団法人化に向け、理事会を中心に学会運営について活発な意見が出され、各事業の推進に不可欠な財政基盤の安定化のため会費の改定を決議し、平成 24 年度実施に向けてこの平成 23 年 5 月の総会に諮ることとした。

1) 各種事業活動の推進報告

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化>

I 大会事業

- (1) 第 64 回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 武田 英二 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授）
平成 22 年 5 月 21 日（金）～23 日（日） 徳島市 アスティとくしま
特別講演 3 題、教育講演 6 題、シンポジウム 8 テーマ、一般講演 669 題
参加者数（登録者）1707 名

(2) 支部事業

①北海道支部

*第 40 回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

平成 22 年 10 月 24 日（日） 天使大学

シンポジウム「脂質代謝と食事」

虚血性心疾患予防に対する n-3 系多価不飽和脂肪酸の役割

池田 郁男（東北大学大学院）

新たな機能性リン脂質プラズマローゲンの消化吸収

西向 めぐみ（北海道大学大学院）

血中リポタンパク質と食事脂質

丸山 千寿子（日本女子大学）

フルクトースと脂質代謝

鈴木 純子（天使大学大学院）

脂質異常症およびメタボリックシンドロームにおける脂質栄養摂取

岸本 憲明（北海道医療大学）

参加者数 86 名

一般講演 11 題

②東北支部

*第 44 回 日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成 22 年 11 月 6 日（土） 宮城学院女子大学大学院健康栄養学研究科（第二講義館 K301）

公開シンポジウム「健康回復のための栄養サポートシステムNSTと地域連携の現状と未来」

医療における栄養サポートの必要性と今後

朝倉 徹（宮城学院女子大学）

NSTの意義—過去、現在、未来—

標葉 隆三郎（渡邊病院）

病棟主体で行う栄養管理の仕組み作り～「職員全員がNST」を目指して～

岡本 智子（東北大学病院）

胃瘻、褥瘡、口腔ケアパスを用いた地域連携の取り組み

土屋 誉（仙台市医療センター
仙台オープン病院）

参加者数 100 名（内 非会員 50 名）

一般講演 19 題

③関東支部

*第 86 回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

平成 22 年 12 月 4 日（土） 東京農業大学 18 号館 2F 1822・1823 教室

シンポジウム「日本と周辺諸国（中国・韓国・台湾）のフードマテリアル機能性活用」

東アジア食品素材の皮膚機能への影響

大石 祐一（東京農業大学）

大豆発酵食品豆豉に含まれる機能性成分

陳 佑汲（万能科学技術大学）

東アジア地域のウコン類の現状とDNA多型による種識別法について

南 基泰（中部大学）

産・官・学における韓国の機能性食品の動向

禹 濟泰（中部大学）

中国産食用茸に含有される生体調節機能物質のケミカルバイオロジー解析

阿部 尚樹 (東京農業大学)

参加者数 64名 (内 非会員 8名)

*第13回脂質栄養シンポジウム

平成23年1月29日(土) 花王ホール

シンポジウム「栄養素研究から食事研究へ」

食事研究の最新バイオマーカーの栄養学

時計遺伝子と食餌リズム

NutritionからDieteticsの研究へ

合田 敏尚 (静岡県立大学)

柴田 重信 (早稲田大学)

中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学)

食の教育について～お弁当の日～

竹下 和男 (元香川県綾川町立綾上中学校)

参加者数 163名 (内 非会員 100名)

*第87回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

平成23年3月12日(土) (東日本大震災のため延期)

④中部支部

*第59回 日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成22年7月10日(土) 岐阜大学 応用生物科学部 101 多目的ホール

公開シンポジウム「微量栄養素の食事摂取基準と最新情報」

水溶性ビタミンの食事摂取基準と最新情報

脂溶性ビタミンの食事摂取基準と最新情報

ミネラルの食事摂取基準と最新情報

柴田 克己 (滋賀県立大学)

岡野 登志夫 (神戸薬科大学)

吉田 宗弘 (関西大学)

参加者数 87名 (内 非会員 44名)

*第60回 日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成22年11月13日(土) 岐阜大学 応用生物科学部 101 多目的ホール

公開シンポジウム「エネルギーと多量栄養素の食事摂取基準と最新情報」

エネルギーの食事摂取基準と最新情報

たんぱく質の食事摂取基準と最新情報

脂質の食事摂取基準と最新情報

炭水化物の食事摂取基準と最新情報

食事摂取基準の活用と最新情報

田畑 泉 (立命館大学)

木戸 康博 (京都府立大学)

江崎 治 (国立健康・栄養研究所)

山田 和彦 (女子栄養大学)

佐々木 敏 (東京大学大学院)

参加者数 75名 (内 非会員 38名)

⑤近畿支部

*第49回 日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成22年10月16日(土) 大阪市立大学 杉本キャンパス 全学共通教育棟

特別講演

臨床栄養師養成を目指した新しい大学院教育の試み

羽生 大記 (大阪市立大学大学院)

食品多糖類による介護食のテクスチャーデザイン～全てのひとに食べる喜びを～

船見 孝博 (三栄源エフ・エフ・アイ(株))

参加者数 150名 (内 非会員 19名)

一般講演 64題

*第1回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成23年2月26日(土) 大阪市立大学文化交流センター

Human Nutrition～高齢者の栄養問題を考える～

高齢者の食事摂取基準策定の課題

木戸 康博 (京都府立大学)

高齢者の食事評価法の課題

伊達 ちぐさ (兵庫県立大学)

高齢者の咀嚼評価の課題

前田 佳予子 (武庫川女子大学)

臨床研究のすすめ：高齢者の栄養アセスメントをめぐって

田中 清 (京都女子大学)

参加者数 76名

⑥中国・四国支部

*第43回 日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

平成22年11月6日(土)～7日(日) 高知女子大学永国寺キャンパス

特別講演「健康寿命アップを目指して！」

【脂肪燃焼と健康維持】

ヒトの褐色脂肪：活性化によるエネルギー消費と肥満予防(基調講演)

斉藤 昌之 (天使大学大学院)

脂肪肝予防や筋肉における脂肪燃焼を促進する食品中の機能性成分

山下 広美 (岡山県立大学)

【高齢者と運動】

無重力や寝たきりによる筋萎縮の分子メカニズム

二川 健 (徳島大学大学院)

運動器を健康に保つ知恵と秘訣～今日からできるロコモティブシンドローム予防

石橋 英明 (高齢者運動器疾患研究伊奈病院)

参加者数 80名 (内 非会員 13名)

一般講演 25 題

* 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部主催公開講演会
平成 22 年 12 月 11 日 (土) ピュアリティまきび

公開講演会「今日の食と健康を考える」

欠乏から飽食の時代までの栄養学の移り変わり

糖尿病をめぐる最近の話題

食品安全性に係わる基礎知識と必要な試験研究

参加者数 50 名 (内 非会員 25 名)

安本 教傳 (京大名誉教授)

福島 光夫 (岡山県立大学)

山田友紀子 (農林水産省)

⑦九州・沖縄支部

* 日本栄養・食糧学会 九州・沖縄支部主催市民公開講演会

平成 22 年 4 月 24 日 (土) 長崎県立大学シーボルト校 大講義室

市民公開講演会「食と栄養をめぐる今日的話題」

食品成分を用いたメタボリックシンドローム予防・改善への試み

食育はいかに展開すればよいか～食事バランスガイドの活用～

糖尿病における栄養管理とその効果

国際保健協力におけるわが国の取り組み

参加者数 100 名 (内 非会員 55 名)

永尾 晃治 (佐賀大学)

早瀬 仁美 (福岡女子大学)

山口 義彦 (長崎県立大学大学院)

渡邊 学 (長崎大学)

* 第 64 回 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

平成 22 年 9 月 24 日 (金) 宮崎観光ホテル東館 3 階

平成 22 年 9 月 25 日 (土) 宮崎観光ホテル西館 8 階

公開講座「食物・栄養・健康」

栄養学の命題：食物と健康

遺伝子解析や酵素活性は我々に何を教えてくれるのか？一肥満予防研究からの教訓一

管理栄養士養成課程での栄養学基礎から臨床へーアメリカと日本の養成教育を比較してー

ブルーベリー葉の機能性：宮崎県地域結集事業を振り返って

参加者数 150 名 (内 非会員 65 名)

一般講演 35 題

菅野 道廣 (九州大学名誉教授)

池田 郁男 (東北大学大学院)

伊藤 薫 (南九州大学)

片岡 寛章 (宮崎大学)

II 表彰事業および助成・助成金推進事業

(1) 学会活動強化費申請 (4 件)、会員増若手活動強化費申請 (1 件) の審査を行い、修正等で再提出を求めたうえで全て承認

(2) 第 2 回各種授賞等選考委員会開催にて、受賞者・基金助成授与者を推薦

①平成 22 年度受賞者の選考

功労賞 (佐伯賞)

板倉 弘重

本間 清一

学会賞

五十嵐喜治

門脇 基二

宮本 賢一

奨励賞

桑波田雅士

薩 秀夫

山岡 一平

②平成 22 年度栄養・食糧学基金研究助成授与の選考

栄養・食糧学学術基金研究助成

加治屋勝子

(3) 下記外部団体からの研究褒賞・研究助成募集の周知を図る

①研究褒賞の周知

(財) 飯島記念食品科学振興財団/飯島記念食品科学賞

(財) 木原記念横浜生命科学財団/学術賞・特別賞

(財) 材料科学技術振興財団/山崎貞一賞

(財) 東京顕微鏡院/遠山椿吉 健康予防医療賞

(独) 日本学術振興会/日本学術振興会賞

福井県小浜市/杉田玄白賞

(財) 森永奉仕会/森永奉仕会賞

(財) 上原記念生命科学財団/上原賞

慶應義塾医学振興基金運営委員会/慶應医学賞

第一生命保険株式会社/保健文化賞

(財) 内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞

(社) 日本看護協会/ヘルシー・ソサエティ賞

日立環境財団/環境賞

②研究助成募集の周知

(財) 飯島記念食品科学振興財団

(財) エリザベス・アーノルド富士財団

公益信託家政学研究助成基金

(財) ソルト・サイエンス研究財団

タカノ農芸化学研究助成財団

(財) 日中医学協会

(財) 日本食品化学研究振興財団

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

うまみ研究会

(財) 旗影会

住友生命健康財団

ダノン健康・栄養普及協会

(財) 内藤記念科学振興財団

(財) 日本科学協会

ネスレ栄養科学会議

(財) ファイザーヘルスリサーチ振興財団

(財)不二たん白質研究振興財団
(財)森永奉仕会
(財)山崎香辛料振興財団

(財)ホクト生物科学振興財団
やずや食と健康研究所
(財)山田科学振興財団

(4) 外部団体への推薦

- ①(財)飯島記念食品科学振興財団へ1件学会として推薦
飯島食品科学賞受賞
- ②(財)山田科学振興財団へ2件学会として推薦
審査中

(5) 研究活動の奨励

第64回大会時に下記関連学会を支援

- ①カルノシン・アンセリン研究会
- ②コレステロール研究会
- ③国際栄養を考える会
- ④栄養機能ゲノミクス研究会：DNAマイクロアレイをどのように使いこなすか？
- ⑤第9回Hindgut Club Japan サテライトミーティング
- ⑥栄養学若手研究者の集い
- ⑦食品素材機能研究者懇話会
- ⑧臨床栄養管理の意義

III 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

- (1) 栄養成分・栄養教育の検討
委員会を2回開催し、第64回大会でシンポジウム開催を決定し、準備終了。
- (2) 食品アミノ酸データベースの検討
汎用データベース化の検討及び現含量表のデータ数値の見直し、単位や数値表記の統一などの検討
- (3) 栄養・食糧学用語に関する検討
用語辞典の見直し案の検討を行い、改定用語リスト作成を業者へ委託

IV 国際交流事業

- (1) International Union of Nutritional Sciences(IUNS)
①平成22年9月7日～9月9日開催 IUNSワークショップ共同開催
- (2) International Union of Food Science and Technology (IUFoST)
①第10回IUFoST-Japan 公開シンポジウム「科学技術研究成果の社会への還元」を支援
- (3) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)
①FANSとの活動窓口として、11th ACNにおける基調講演、座長の推薦と、シンポジウム3件の企画提案
②FANS Newsletter 新版を制作中
③12th ACN(横浜)の準備
・(株)ICSコンベンションデザインと11th ACN会場での広報に向け契約
・会議誘致に関し、日本政府観光庁(JNTO)より、「国際会議誘致貢献賞」受賞(12/8)
・ロゴマーク、ポスター等の決定、コンセプト検討
- (4) Korean Society of Food Science and Nutrition(KFN)、Nutrition Society of Taiwan(NST)等との交流
①KFNのRyu会長に第65回大会開催時の講演依頼
②NSTのWang会長に第65回大会開催時の講演依頼
③Chinese Nutrition SocietyとのMOU締結に向けて話し合い中

V 倫理審査事業

- (1) 倫理審査委員会の審査手順の見直しの実施
- (2) 倫理審査申請依頼(申請番号74番)に基づき倫理審査委員会を開催(4/7)、審査結果に基づき再提出を求め、付帯条件を付け承認

<栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及>

I 出版事業

- (1) 日本栄養・食糧学会誌 63巻2号～6号、64巻1号の刊行

①2009年度 投稿論文 34編

採択率 65%(取り下げ除く)

掲載可	20編	掲載否	11編
-----	-----	-----	-----

取り下げ	3編	審査中	0編
------	----	-----	----

②2010年度 投稿論文 28編

掲載可 取り下げ ③発行状況	12編 2編			掲載否 審査中			5編 9編		
	総説	報文	ノート	資料	動向	速報	講座	書評	計
63-2	1	2	0	0	0	0	0	0	3
63-3	0	2	1	0	0	0	0	1	4
63-4	1	2	1	0	0	0	0	0	4
63-5	0	2	2	0	0	0	0	1	5
63-6	0	2	1	0	0	0	0	1	4
64-1	0	2	2	0	0	0	0	1	5
総計	2	12	7	0	0	0	0	4	25

④刊行状況

	納本日	予定日
63-2	4月12日	4月10日
63-3	6月10日	6月10日
63-4	8月10日	8月10日
63-5	10月13日	10月10日
63-6	12月10日	12月10日
64-1	2月14日	2月10日

⑤日本栄養・食糧学会誌編集委員会の開催（メール会議を含む） 2回（メール会議1回）

6月1日より、J-Stageの電子論文査読システムを用いた論文投稿・審査がスタート

第63回大会で行われた特別講演・教育講演等の一部を寄稿として63-6号から掲載中、64-5号まで掲載予定

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol.56-No.2~No.6、Vol.57-No.1の刊行

平成22年12月10日現在

理事会 資料提出日	Vol	年	分野別投稿数						分野別採択数						備考
			Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	Review	Note	
3月13日	56	2010	33	2	23	8	0	6	24	4	13	7	1	3	56-2まで
7月18日			100	16	67	17	0	17	43	7	27	9	0	8	56-4まで
10月23日			143	23	95	25	1	22	68	11	44	13	1	12	56-6まで
1月22日			165	27	111	27	1	25	68	11	44	13	1	12	56-6まで

Total は、V, N, Fの合計。

(各号の内訳)

Total	V	N	F	Review	Note	巻号
13	1	7	5	1	3	56-1
11	3	6	2	0	0	56-2
10	1	7	2	0	4	56-3
9	2	7	0	0	1	56-4
10	0	9	1	0	1	56-5
15	4	8	3	0	3	56-6

V: Vitaminology
N: Nutrition research
F: Food Science research
R: Review

		採 択 日 数				[参考]	論 文 採 択 率						
		60日以内	90日以内	120日以内	全採択数	180日以上	投稿数	可	《採択率》	否	取下げ	他誌へ	審査中
2001年	(採択数)	0	5	24	67	26	93	77	82.8%	5	10	1	
2002年	(採択数)	5	19	33	75	23	106	78	73.6%	14	12	2	
2003年	(採択数)	3	13	33	88	28	103	66	64.1%	21	11	5	
2004年	(採択数)	3	8	15	71	31	110	69	62.7%	18	20	3	
2005年	(採択数)	4	21	12	69	24	107	67	62.6%	17	20	3	
2006年	(採択数)	7	28	20	85	14	104	75	72.1%	15	14	1	
2007年	(採択数)	12	24	22	78	8	124	88	71.0%	23	11	2	
2008年	(採択数)	15	24	14	78	3	107	71	66.4%	21	13	2	
2009年	(採択数)	20	18	9	67	6	115	69	60.0%	28	15	3	
							137	85	62.0%	37	13	2	
							134	78	58.2%	38	10	8	
							154	78	50.6%	65	9	3	
							165	67	40.6%	87	6	5	0

前年と比較して投稿論文数が増加している一方、採択率が大幅に低下している。また、前年に引き続き、査読のさらなる迅速化を達成

②JNSV 編集委員会に関する理事会承認事項

栄養分野担当編集副委員長の交代：12月18日付で、山本茂氏から原博氏に交代

(3) 学会監修出版物

- ①「ルミコナイド研究のフロンティア」 海老原 清、早川 享志、奥 恒行 建帛社
- ②「機能性タンパク質・ペプチドと生体利用」 岡 達三、二川 健、奥 恒行 建帛社

II 広報事業

(1) 関連学術団体、関連機関（大学・官庁等）からの情報、依頼記事（募集・告知等）についての広報推進

- ①第64回大会開催に向け、報道機関へ事前に主なテーマについての発表の実施（5/6）
- ②ホームページの管理業務委託先の㈱ダケコムとの連携を図り、定期的に月2回の更新と緊急時掲載の実施
- ③会員向けメールマガジン栄食ニュースは1回/月のペース、および臨時に4回発信
- ④国内学術団体との連絡および協力

* 日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース（No. 242～No. 291）の周知

* 日本医学会

シンポジウム等周知協力

第28回医学会総会への協力

* その他の団体との共催、協賛、後援

- ・メタロミクス研究フォーラム事務局「第2回メタロミクス研究フォーラム」の協賛
- ・ダノン健康・栄養普及協会「第12回ダノン健康・栄養フォーラム」の後援
- ・第4回国際O-CHA学術会議実行委員会「第4回国際O-CHA学術会議」の後援
- ・（独）国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」の後援
- ・（財）不二たん白質研究振興財団「大豆のはたらき in 徳島一食を通して健やかな人生をー」の協賛
- ・J S A A S 2010 実行委員会「日本アミノ酸学会第4回学術大会（J S A A S 2010）」の協賛
- ・東京大学 I L S I Japan 寄付講座「The International Symposium on Aging and Anti-aging-From Molecular Biology to Nutritional Science-」の後援
- ・日本油化学会関東支部「2010年度第3回油化学セミナー」の協賛
- ・（社）米穀安定供給確保支援機構「平成22年度食育健康サミット」の後援
- ・日本油化学会「第10回基準油脂分析試験法セミナー」の協賛
- ・日本糖質学会「第30回日本糖質学会年会」の共催
- ・（独）理化学研究所「The 5th International Conference on Metals and Genetics」の後援
- ・国際組織細胞化学会「第14回国際組織細胞化学会議」の後援
- ・日本油化学会「J O C S - I L S I Japan, 5th Joint Symposium 2011」の協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2011」の協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「第22回食品ハイドロコロイドシンポジウム」の協賛

- ・日本油化学会関東支部「2011年度第1回油化学セミナー」の協賛
- ・湧永製薬株式会社「国際シンポジウム『Garlic Congress 2011』」の協賛
- ・日本油化学会「平成23年度第1回油化学セミナー」の協賛
- ・国際生命科学研究機構「第6回「栄養とエイジング」国際会議」の後援

2) 管理業務報告

(1) 文部科学省からの通知・連絡対応

- ①平成22年度実地検査(9/10)対応
- ②平成22年度特例民法法人概況調査(12/17)回答
- ③その他
 - *【依頼】平成22年度公益法人実地検査の日程調整について(5/27)回答
 - *【作業依頼】新しい公益法人制度への円滑の移行に関するアンケート(12/17)回答
 - *【調査依頼】病原性微生物等の保管・管理の徹底等の調査(4/2)回答
最近の天下り・渡りの実態に関する予備的調査(12/15)回答
 - *【照会】第52回(平成22年度)教育・文化週間について(9/6)回答
大臣交代に伴う兼職状況調査について(9/21)回答
 - *【通知】平成22年度公益法人実地検査結果(9/22)受理

(2) 日本学術会議

- ①日本学術会議発行メールニュース(No.242~No.291)の周知
- ②生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③アンケートの回答

(3) 日本医学会

- ①第78回日本医学会定例評議員会(平成23年2月23日)への出席
- ②平成22年度日本医学会分科会用語委員会(平成22年12月2日)への出席
- ③日本医学会に関するアンケートの回答

3) 総会、理事会、評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

平成22年 5月21日(金) 9:30~10:20 徳島市 アスティとくしま

(2) 総会

平成22年 5月21日(金) 10:30~11:20 徳島市 アスティとくしま

(3) 理事会

平成22年	5月20日	(木)	15:00~17:30	ホテルクレメント徳島
平成22年	7月18日	(日)	13:10~16:45	キャンパス・イノベーションセンター
平成22年	10月23日	(土)	13:15~16:45	パシフィコ横浜 会議センター
平成23年	1月22日	(土)	13:00~16:45	キャンパス・イノベーションセンター
平成23年	3月19日	(土)	13:00~17:00	キャンパス・イノベーションセンター

(4) 臨時理事会

平成22年 5月21日(金) 10:55~11:00 アスティとくしま

(5) 新役員候補者・現役員懇談会

平成22年 4月10日(土) 13:30~15:50 キャンパス・イノベーションセンター

(6) 役職理事会

平成22年	6月13日	(日)	13:00~17:00	キャンパス・イノベーションセンター
平成22年	7月18日	(日)	10:00~12:00	キャンパス・イノベーションセンター
平成22年	10月23日	(土)	10:00~12:00	パシフィコ横浜 会議センター
平成23年	1月22日	(土)	10:00~12:00	キャンパス・イノベーションセンター
平成23年	3月19日	(土)	10:00~12:00	キャンパス・イノベーションセンター

(7) 名誉会員・顧問懇談会

平成22年 4月10日(土) 11:45~13:15 キャンパス・イノベーションセンター

- ①新公益法人制度対応の件
- ②第12回ACN(2015)横浜招致の件

(8) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成 23 年 1 月 22 日 (土) 9:45~10:00 キャンパス・イノベーションセンター

(9) 新公益法人制度対応WG打合せ

平成 22 年	4 月 17 日	(土)	13:10~15:30	学会事務局
平成 22 年	7 月 5 日	(月)	14:30~17:00	日本政府観光局 (J N T O) 会議室
平成 22 年	9 月 11 日	(土)	13:30~16:30	学会事務局
平成 22 年	12 月 25 日	(土)	13:30~16:00	学会事務局
平成 23 年	2 月 13 日	(日)	13:30~16:00	学会事務局

(10) 中央選挙管理委員会

平成 22 年	10 月 23 日	(土)	13:10~15:30	パシフィコ横浜 会議センター
平成 23 年	1 月 8 日	(月)	14:30~17:00	学会事務局

4) 委員会活動

(1) 各種授賞等選考委員会 平成 22 年 5 月 21 日 (金)、12 月 11 日 (土)

(2) 学会活動強化委員会 メール会議

- ①学会活動強化費 (中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の各支部から申請) による学術企画の支援
- ②会員増・若手活動強化費 (九州・沖縄の各支部から申請) による企画支援
- ③栄養・食糧学基金研究助成の予備審査
- ④栄養・食糧学基金国際交流助成の予備審査

(3) 倫理委員会 平成 22 年 4 月 17 日 (土) 倫理審査申請 1 件

(4) 広報委員会

- ①第 64 回日本栄養・食糧学会大会記者会見 平成 22 年 5 月 6 日 (木) 東京
- ②栄食ニュース 平均月 1 回

(5) 国際交流委員会 メール会議

- ①International Union of Nutritional Sciences (I U N S) ワークショップへの対応
- ②第 10 回 I U F o S T - Japan 公開シンポジウムの対応
- ③11th A C N (シンガポール) に 3 シンポジウム (アミノ酸、脂質、ナノ技術) を企画提案
- ④12th A C N (横浜) の準備支援
- ⑤第 65 回大会 (東京) の国際シンポジウムの企画
- ⑥ Chinese Nutrition Society と M O U 締結の交渉

(6) 非常置委員会

- ①用語辞典委員会 平成 22 年 7 月 9 日 (金)
- ②栄養成分表示・栄養教育検討委員会 平成 22 年 9 月 13 日 (月)、平成 22 年 12 月 18 日 (土)
- ③アミノ酸データベース委員会 アミノ酸データベースの更新
- ④第 12 回アジア栄養学会議 (2015) 組織委員会 平成 22 年 4 月 10 日、
- ⑤第 12 回アジア栄養学会議 (2015) 実行委員会 平成 22 年 7 月 5 日 (月)、平成 22 年 10 月 23 日 (土)、平成 23 年 1 月 28 日 (金)